

以前は、目黒川を挟んで東側迄は商業ビルが出来るけど西側はどうかと思っていました。天王洲アイルも品川区内だけど目黒川の東側にある、しかし私の予想は見事に外れて我が社の前はシーサイドフォレストのビル街となり、今更ながら時の流れに沿って変わり行くものですね。

さて、食べ処ですが、シーサイドフォレストのビル地下と一階部のオーバルガーデンの周囲に色々なお店が沢山あります

が、私が特にお進めしたいのは、京浜急行青物横丁駅からシーサイドフォレストに行くジュネーブ平和通り中程左側筋の老舗割烹料理竹惣の天ぷらと日本そばが一番と思います。

東京湾名物の穴子・車海老・季節の魚等で、焼酎、日本酒の熱燗に最高です。又昼食時は「品川そば」をどうぞ。江戸前の穴子とあさりが入っています。



オーバルガーデン



割烹料理 竹惣

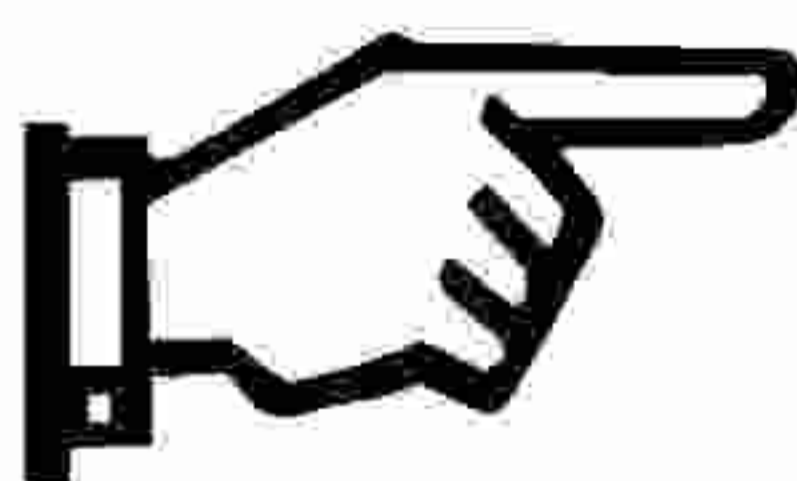


天ざるそば



品川そば

(東邦地下工機(株)・永野勝昭)



## ここにこんな人が "現場感覚"を大切に

青山機工(株)  
代表取締役社長

信定 隆宇興



信定 隆宇興(のぶさだ たかうき)

昭和21年 岡山県生まれ。  
昭和45年 間組入社  
平成13年 日本イコス(株)  
代表取締役社長就任  
平成15年 青山機工(株)  
代表取締役社長就任

### ■経営理念

青山機工の経営理念は、  
1)優れた技術 2)自然を大切に  
する心 3)誠意をもって顧客の信頼に  
応える。この経営理念のもと、創立  
(1972年)以来アンカー工事を始め、  
杭工事、ダム工事、トンネル工事、  
地下連続壁工事等多岐にわたる土木工  
事分野で着実な実績を積み重ねてき  
ました。建設業界に対する要求は、ま  
すます高度化、多様化しつつあります。  
こうした時代の変化を的確に捉え、と  
くにロボット技術を駆使した施工機  
械や、最新のメカニズムを備えた大規  
模プラントでの施工等を積極的に取  
入れて参りました。

私達が最も大切にしているのが「現場感覚」です。地盤の安定、トンネルの掘削、土地造成等々。自然を大切に多くの仕事をしてきた当社は、各地の地盤条件などたくさんの方が蓄積されています。そして新しいプロジェクトに当っては、そうしたデータをもう一度見つめ直し、その場所その工事に最も適した工法、技術を選択します。

豊かな「現場感覚」があってこそ最新の技術も生きてくる。これは青山機工の大切なコンセプトです。

### ■日本イコスと合併

地下工事に於いては、軟弱地盤から硬い岩盤まで、あらゆる地盤条件で特殊な機械と技術で対応してきたわけですが、中でもとくに硬い地盤には、ドイツ・パウアー社から導入した水平多軸回転式のHB・トレンチカッターでの地下連続壁工事やBG掘削機による基礎工事等導入以来、早く、深く、正確に適用出来るよう努めてきましたが、この度この分野でパイオニア的存在である日本イコス(株)と平成17年4月1日に合併し、あらゆる条件下で大深度、高精度な地下連続壁施工体制の強化を図ります。

### ■汗をかく会社に

入社以来、設計、組合、現場、営業、関連会社社長と建設業に於ける全ての職を経験させて戴きました。甲乙丙丁と色々な請負の立場を経験した中で、つくづく額に汗をかく者がなかなか報われない業界だなと感じております。少しでも魅力ある業界にすべく汗をかく者を大切にすると同じに、スルーではなく汗をかく会社にしていきたいと思っております。

### ■信条・趣味

信条は、「人と人との出会いを大切にする」を基本に、好きな言葉は「知足」(身の程をわきまえて、むやみに不満をもたないこと。老子より)、「知好楽」(物事においても知って、好きになって、そして楽しんで実行する。論語より)、「物極則反」(ものごとは極点にまで達すると、必ず反動が起る。中国古典より)です。

社員とのコミュニケーションは週1回の部長会、月1回の幹部会を基本に、営業で地方支店に出向いたときは、近郊現場に顔を出し、ノミニケーション。また、全社員には私宛メールを開放。

スポーツは学生時代軟式テニス部所属、リーダー的立場で活躍、入社後もテニス部部長として、昨年まで建設業大会に参加。現在はゴルフに専念中。

趣味は、ワインとゴルフで山登りを少々。ワインはパリに40日間滞在した事もあり、赤ワイン党で抗がん物質(ポリフェノール)を含む事を言い訳に毎日1本近くたしなんでいます。

ゴルフは、H・C18で営業ゴルフ。年がいてもなくドライバーで人より飛ばすのがストレス解消法。方向は少々難あり。

(青山機工(株) 信定 隆宇興)

### 【お知らせ】

◆次の会社が新会員となりましたので、ご紹介いたします。  
会社名 株式会社 アーバン利根  
代表取締役 箕島 達巳  
所在地 東京都千代田区平河町2-7-2 平河ビルディング  
工 法 パーカッション

### 編集後記

協会ニュース発刊にあたり、執筆者の皆様にはご多忙のところ協力頂きまして誠に有難うございました。

(編集分科会)